

〔国際会議開催〕

申請者	奈良先端科学技術大学院大学 教授 太田 淳	2195002
国際会議名称	IEEE BioCAS2019	
開催期間	2019 年 10 月 17 日～10 月 19 日	
開催場所	奈良春日野国際フォーラム 薨（奈良県奈良市）	
申請者の役割	General Co-Chair	

概 要：

BioCAS2019 は生物学、ライフサイエンス及び医療分野への応用を目的とした回路やデバイス、システムの開発に関する分野横断的な研究の国際会議です。電子回路や情報処理の技術、また、これを用いたシステムは発展を続けており、これを応用することによって、従来では観察や解析が難しかった生体の現象を捉え、さらにはフィードバックすることが可能となってきています。その対象は、生命の解明や生体機能の補綴、生体情報の解析などを含んでおり、今後の高齢化社会に向けてますます重要となる技術と考えられます。本年は、“Intelligent symbiosis of man and machine to improve health” というテーマの下、奈良での開催となりました。日本での開催は、これが初めてとなります。

BioCAS は例年シングルセッションであり、本会議も同様に行われました。様々な分野の研究者が一堂に会して発表・聴講をすることにより、様々な視点から活発な質疑応答がなされました。また、会場の奈良春日野国際フォーラムは日本庭園の併設された会場であり、天候にも恵まれて世界各国からの参加者が芝生に腰を下ろして昼食を楽しみながら参加者同士の議論がなされていました。展示会では、例年では参加が難しい日本からの企業の展示もあり、海外の参加者からも注目されている様子が見られました。回路とシステムのバイオメディカル応用という分野において、我が国は、デバイス加工技術やセンサ技術などに代表されるように、これを支える様々な要素技術を有しております。本国際会議の開催により、世界各国の研究者と日本の研究者が意見を交換する機会が得られ、当該分野の発展につながるものと期待されます。